

令和4年4月5日

保護者の皆様へ

新入生の保護者の皆様、お子様の琉球大学へのご入学、誠におめでとうございます。化学系の教職員を代表しまして、ご挨拶を申し上げます。

お子様が、本日、入学式を迎えられ、いよいよ大学生としての第一歩を踏み出しました。長い受験生活から解放されたことを実感し、本人はもちろんのこと、保護者の皆様、ご家族やご親戚の皆様、高校の恩師や塾の恩師の皆様もほっとしていることと思います。特にコロナ禍での受験勉強の急激な変化には、お子様のみならず保護者の皆様も大変ご苦労されたこととお察しいたします。

さて、琉球大学は一昨年、おかげさまで70周年を迎えることができました。理学部の化学は、1950年に琉球大学が首里城跡に開学した時から設置され、1954年に第1期生を輩出してから卒業生数もう少しで2000人に達するところまで来ています。皆さんのお子様もこれから、4年間、しっかり大学で学び、大学生活を楽しんで、2000人の卒業生の仲間入りができることを願っております。

世情からして新型コロナウイルス感染について触れなければなりません。新型コロナウイルスによる感染症が世界中で広がり、アルファ株から始まって、ベータ株、ガンマ株、毒性の強いデルタ株、感染力の強いオミクロン株へと変異し、さらに今はオミクロン株が変異したオミクロンBA亜種と呼ばれるウイルスによる感染拡大が全国では心配されています。沖縄県はといいますと、県内の感染者数は、先月下旬から1000名以上の日が続き、感染拡大がすでに第7波に入ったのではないかと心配されています。特に最近、18歳から24歳の若者にも感染者が多く見受けられています。新入生も含めて、この世代である琉球大学の学生には、新型コロナに「感染しない、感染させない」という自覚と責任のある行動が求められます。これまでに学生には、『「三密」を避けるようにしてください』と伝えてきています。

「三密」とは、皆様もご存知の通り、換気の悪い「密閉空間」、大勢が集まる「密集場所」、そして間近で会話する「密接場面」のことですが、実は、大学ではこのような場所や場面が多く見受けられます。できるだけ、この「三密」を避けながら、大学生同士の交流を深めていこう、ご家庭でもご指導をお願いしているところです。保護者の皆様のご理解とご協力が大変重要になります。

健康で明るく楽しい大学生活をおくることができるように我々教職員もサポートして参ります。大学生は多種多様です。大学で専門のスペシャリストを目指して入学してくる学生もいれば、専門を極めることの他に課外活動やアルバイトなどをして人間性や社会性を身につけようとしている学生もいます。ここで大切なことは、新型コロナウイルスの感染拡大で、このような夢を持った学生の進路を妨げることがあってはいけないということです。

皆様のお子様をはじめ大学生が、この続く難局をともに乗り越えて、有意義で持続可能な大学生活を送ることが出来るように、保護者の皆様と教職員が一体となって取り組んでいきたいと思っております。ぜひ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

琉球大学 理学部 海洋自然科学科 化学系

主任 荻原 和仁